

2022（令和4年）年度 おいらく山岳会定期総会議事録

第一部 永年会員表彰式

小林総務会計部長の司会により議事に先立ち表彰式が行われた。

本年度永年会員の方、永年幹事の方に表彰状、退任幹事の方に感謝状の贈呈。

■ 25年永年会員7名（出席者 無）

日暮一枝、藤喜美子、黒澤由貴子、山田志、手塚幸子、中村由美子、藤田眞太郎、

■ 30年永年会員8名（出席者1名）

水上容子、有倉民子、田中基雄、小野塚和子、小林富江、野上紀代子、保科美喜子、
藤沢みつ江

※出席者の保科美喜子氏へ表彰状と記念品贈呈。返礼の挨拶があった。

■ 永年幹事（幹事歴15年）3名（出席者3名）

安吉佳子、鈴木武夫、村松みさを

※3名へ表彰状と記念品贈呈。代表して村松みさを氏から返礼の挨拶があった。

■ 退任(定年)幹事5名（出席者3名）感謝状贈呈

田邊由子、松井俊征、谷口四郎、藤田英夫、永島邦雄

※出席者3名へ感謝状と記念品贈呈。代表して松井俊征氏から返礼の挨拶があった。

第一部終了 これより第二部令和4年度定期総会議事に入る

第二部 定期総会

1. 日 時 : 令和4年6月25日（土） 13時30分～15時30分

2. 場 所 : 北とぴあ カナリアホール

3. 出席者 : 会員総数 614名 定足数123名

出席者 66名 委任状 223名 合計289名 定足数充足

4. 審議事項

1号議案 令和3年度事業報告および各部報告

2号議案 令和3年度決算報告並びに監査報告

3号議案 会則改定の件

・第3章 役員・幹事等

第10条2（その他の役職） 準幹事の創設

4号議案 新幹事承認及び準幹事承認、幹事継続者承認に関する件

・新幹事候補5名：小泉雪乃 佐々木義尚 高木 明 小林美貴男 住田ますみ

・準幹事承認・幹事継続者承認・退任幹事（報告）

5号議案 役員の改選承認に関する件

新役員の選出規定に基づき選出された役員候補者氏名

・会長：吉野 誠 副会長：村松みさを 設楽政夫

・監査役：石井武治 小野寺則男 竹内慧子

・各部部長候補者

6号議案 令和4年度事業計画の承認に関する件

- ・安心・安全な山行の維持
- ・会員の要望に沿った山行の増加と内容の充実
- ・部活動の活性とリーダーの育成

7号議案 令和4年度予算案の承認に関する件

5. 議長選出：

総務会計部の安吉佳子氏より上記会員の出席状況が示された。司会：小林総務会計部長が会則14条に定める要件を満たすことから総会が成立することを宣言した。続いて、議長の選出を会員に諮ったところ、司会者に一任する旨の総意が示された。司会者が議長に牛山 誠氏と小島幸代氏、書記に平山典男氏を指名し、承認された。

また、議事録署名人には梅澤秀夫氏、石上初美氏を指名し、承認された。

議長2名が議長席に着き、開会を宣言し議事を開始した。

6. 議 事

1号議案 令和3年度事業報告および各部報告

事業報告

濱田会長より、以下のとおり令和3年度の事業報告がなされた。

令和3年度事業報告（令和3年4月～令和4年3月）

- ・安心・安全な山行の維持
- ・部活動活性化と山行 内容の充実
- ・組織の機能的な運営とリーダーの育成

上記の活動計画のもと新年度に入ったが新型コロナの終息は見えず、首都圏緊急事態宣言のもと会は感染拡大防止のため5月31日まで会山行を中止した。その後は、「まん延防止等重点措置」のなか会山行の実施、中止はリーダーの判断にお願いし再開した。なお、組織面では本年1月第90回役員会において従来の企画部を新年度より軽ハイキング部と名称変更し、活動内容の活発を目指すこととした。

① 会員増加対策の実施

（会員紹介キャンペーン・ホームページによる体験山行公開の継続）

こうした状況のなかでも体験山行実施により80名の新入会員を迎えることができた。

② 安全な登山への具体的な施策の実行

安全登山研修（1月）・レスキュー訓練（11月）の実施。個人山行での死亡事故があり、7月より会への個人山行届のルールを定めた。

③ 例会開催

雪山・テント泊入門机上講習（11月） 沢入門、夏山例会（コロナのため中止）

④ 会員交流

集中山行（5月高尾山コロナのため中止）・おいらくまつり（10月 コロナのため大山周辺集中山行に変更。新幹事3名初山行も実施し、参加者236名。

なお、濱田会長より以下の各部活動報告がなされた。

各部活動報告（2021年4月～2022年3月）

■安全登山部 （部長 安吉佳子）

★安全登山研修

- ① 11/13： 日和田山域でレスキュー訓練（B級9名参加）
- ② 1/16： 初沢山で初級・中級研修（C級31名参加）

★事故報告受付6件（内、⑥のみ保険求償手続き）

- ① 4/19: 71歳男性・今倉山 / 疲労による体調不良で途中下山
- ② 6/05: 61歳男性・瑞牆山（登山前夜、富士見平テント場でテン泊中） / 夜間、テント場内で管理人に収容され、救急搬送（搬送先病院で脳梗塞と診断された）
- ③ 10/26: 65歳女性・集中山行/大山阿夫利神社女坂の登りで、一時的に意識を失って救急搬送（居合わせた外部の人が通報）され、経過観察のため1日入院の由
- ④ 11/23: 72歳男性・百蔵山に向かう途中、大洞岩下山中に転倒、左手打撲・裂傷
- ⑤ 11/29: 73歳男性・鎌倉の尾根登り口で約80センチ滑落し転倒、右手薬指骨折
- ⑥ 1/10: 43歳女性・高尾山から下山中に転倒、右足首捻挫

■審査部（部長 設楽政夫）

年間企画総数 596件（50数件/月）を9名の部員で審査をしました
 前年同様コロナ禍の為に事務所での審査は最小限の人数に抑え、他の部員は在宅審査で対応しましたがコミュニケーション不足を指摘されました、コロナ禍ではやむを得ないと思い在宅審査を継続しました。企画書に於いては

- 1・級と時間が審査でよく審議されます
 歩行時間の昭文社タイムは40～50歳代の4～5人パーティーとありますから
 20～30人の参加者もありますので一考をお願いします
 - 2・コース変更あり、雨天中止、メール申し込み可、費用記入ミス（2500円・2,5千円等）の記入や記入ミスがありました
 - 3・キャッチフレーズの簡素化
- 以上3点のお願い。

2021年度集計(2021年4月1日～2022年3月31日)

企画数	596件	中止数	229件	実施数	367件	参加人数	5980人
	A級 16		B級 129		C級 305		D級 80
							E級 58
							その他 2 スキー6
前年比	91%			135%		157%	

■教育部（部長 藤田英夫）

・各ステップアップ研修と山行企画・計画とその実施は、コロナの影響を受けましたが、各部員の協力で分担に従い、概ね順調に実施されました。コロナによる人数制限についても企画回数の増加により対応した。

・教育部組織について、部員の相互協力を目的とした雪山・テント班と岩・沢班の合同班は、部員の人数が増えたことにより、従来の体制の地図読班との3班体制に戻した。また、令和4年度からスキー・スノーシュー班も加わり4班体制になった。

リード訓練について、初級、中級の手順書も完成した。また、訓練講師の定年による人数減に対応し、リード訓練初級講師を新たに4名選出したが、今後、中級講師の選任が必要です。

・チェーンスパイクの利用について、審査部と共同で役員会・幹事会・会員向けの資料を作成した。

■入門部（部長 横幕千栄子）

1) 新入会員入門山行（土日休日と平日を隔月実施）

・実施回数 9回（中止3回） ・参加者数 110名（対象者 54名）

2) C級入門山行（7、8、1月は企画なし）

・実施回数 5回（中止4回） ・参加者数 51名（対象者 15名）

3) B級入門山行（7、8、12、1月は企画なし）

・実施回数 5回（中止3回） ・参加者数 77名（対象者 25名）

新型コロナ感染症緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の影響により中止山行が多かった。

■企画部（部長 北澤秀三）

実施山行 合計47件（前年26件）

内訳 高年者23件、植物5件、スキー5件

スケッチ 4 件、史跡 8 件、バスハイク 2 件

■イベント部（部長 保科美喜子）

- ① 5 月 2 3 日集中山行高尾山中止 提出企画 2 1（B 2，C 6，D 2、E 1）
- ② 1 0 月 2 4 日おいらくまつり中止、同日集中山行「大山とその周辺」実施
企画 1 6（B 3，C 1 0、D 2、E 1）2 3 6 名参加。新幹事 3 名初山行実施
- ③ 夏山例会 令和 4 年 2 月 2 5 日（金）中止。夏山アンケート実施、広報
- ④ 令和 4 年度おいらくまつり準備

■編集部（部長 楯恒雄）

- 1）毎月発行される『山行手帖』の編集・制作作業を部員 9 名で滞りなく行った。
- 2）安全登山部、教育部の訓練・例会情報およびイベント部夏山速報など各部情報を掲載した。
- 3）ページ数を基本 24 ページに抑えて編集。経費節減に努力した

■広報部（副会長 在田みな子）

- ① 常時 HP を閲覧する会員が順調に増加
- ② 会員のコミュニケーション・楽しさの推進
・「登りたい山リクエスト」、「OMC 楽しんでます」。「OMC クイズ」などを実施。
- ③ 会の運営の効率化、コストダウン
ZOOM の活用。総会の委任状を HP 経由で集約。会員サイトに山行の中止・申込み締切を掲載。
- ④ 外部への活動の周知と新入会員増加の推進
・「行ってきました」の充実や「OMC 楽しんでます」の充実が新入会員増加に寄与。
・体験山行および入会の WEB 申込みを可能とし、ほとんど WEB 経由に移行。
・「山と溪谷」の山岳会員募集広告を掲載（2022 年 4 月号）。

■総務会計部（部長 小林正美）

従来同様の活動を継続実施し、会務の円滑な運営に努めた。

- （1） 毎月の会計処理、現金の適正な管理。
- （2） 決算報告、予算案の作成。
- （3） 総会、幹事会の準備とその円滑な運営。
- （4） 新入会員等会員情報の管理。
- （5） 会事務所の適切な運営。

1 年間の活動として会山行企画数は 596 件、実施数は 367 件、参加者 5,980 名となり、実施数は前年比 135%アップした。そして、新たな軽ハイキング部の活動を期待して、事業報告とさせていただきますと報告された。

質疑応答に入り、松井俊征氏より「個人山行届は何件位あったのか」との質問があり、濱田会長より「70 件近くありました」と回答があった。採決に入り、出席者の一斉拍手により承認された。

2 号議案 令和 3 年度決算報告並びに監査報告

決算報告

小林総務会計部長より山行手帖 6 月号 4 ～ 5 ページに従って報告された。

一般会計

貸借対照表 2 0 2 2 年 3 月 3 1 日現在

資産の部 資産（現金、預金、敷金）で合計 14,910,559 円。

負債及び資本の部

前受金 5,186,500 円（3 月末までに入金した 2 0 2 2 年 4 月以降に充当される入会金・会費）。繰越金は 9,724,059 円。合計 14,910,559 円

収支計算書

収入の部

入会金 78,000 円（新入会員分）。会費 5,956,160 円（新入会員と継続会員の会費）。
山行参加費 1,176,100 円（山行参加者から徴収した分）。収入合計は 7,445,474 円で、
予算に対して 506,474 円の増収。増収の理由は継続会員と新入会員の増加。

支出の部

今迄の支出科目貸室料を家賃に変更。各項目も昨年度より削減、
支出合計は 7,093,486 円、予算に対して 446,514 円少なくなった。

特別会計（救難基金）

当期剰余金 169 円 合計 10,103,275 円であることが説明された。

会計監査報告

高下麗子氏より、2022年4月18日に石井武治氏と一緒に、濱田会長出席の元
で監査を実施した結果、会計処理は適正であったとの報告があり、質疑応答もなく
拍手をもって承認された。

3号議案 会則の改定に関する件

濱田会長より、すでに山行手帖6月号に準幹事の創設を記載しているが、定年幹事の方
に準幹事として活躍をして頂くことに対して、以下の改定の提案があり、出席者の一斉
拍手により承認された。

会則第3章 役員・幹事等 改定

①第10条（役員等の人数・任務）に準幹事の項を追加する。

準幹事：永年に亘っての山行リーダーとしての経験を活かし、第12条2項幹事
委嘱の解除後、D・E級山行に限って別途定める規則により会山行を行
うことが出来る。

②第12条（役員等の任期）

3 準幹事の任期は2年とする。

役員等選出規則の改定 第7条の追加

①第7条（準幹事の選出）の追加

準幹事の選出と活動内容は、次の通りとする。

- ・各部部長の推薦を得、役員会の承認を経て、会長が任命する。
- ・任期は2年を限度とする。（満82歳の総会まで）
- ・山行実施にあたっては、幹事1名をサブリーダーに付ける。
- ・幹事会へ出席出来る。

質疑応答もなく、出席者の一斉拍手により承認された。

4号議案 新幹事承認及び準幹事承認に関する件

新幹事候補 5名

小泉雪乃（推薦者：保科美喜子幹事 久保田勝美幹事）

佐々木義尚（推薦者：濱田正和幹事 吉野誠幹事 渡辺恒男幹事）

高木 明（推薦者：佐野久志幹事 佐藤淳幹事 設楽政夫幹事）

小林美貴男（推薦者：吉野誠幹事 北澤秀三幹事）

住田ますみ（推薦者：吉野誠幹事 濱田正和幹事）

準幹事候補 5名（出席3名）

田邊由子（推薦：軽ハイキング部） 谷口四郎（推薦：教育部・軽ハイキング部）
永島邦雄（推薦：教育部） 藤田英夫（推薦：軽ハイキング部）
松井俊征（推薦：軽ハイキング部）

幹事継続者承認・退任幹事（報告）

令和4年度幹事継続 35名

東弥生 在田みな子 今村好伸 牛山誠 柏木哲彦 北澤秀三 久保田勝美 小芝真佐子
小島幸代 小林正美 佐藤淳 佐野久志 重松照雄 設楽政夫 鈴木五郎 鈴木武夫
大東億 竹内慧子 楯恒雄 立山寛子 濱田正和 平山典男 藤崎裕二 藤田眞太郎
藤田幸子 保科美喜子 三苫昭雄 村松みさを 森角清 安吉佳子 山田典之
山田義正 吉野誠 渡辺恒男 綿貫政夫

<退任幹事報告>

退任：五十嵐令子 石井芳男（退会） 木佐美廣 酒井春人（退会）片桐元（退会）
横幕千栄子

定年：田邊由子 谷口四郎 永島邦雄 藤田英夫 松井俊征

なお、定年幹事全員が準幹事となったことが報告された。

濱田会長より、新幹事5名、準幹事5名、幹事継続者及び退任幹事・定年幹事（報告）への一括承認が提案された。

質疑応答もなく、出席者の一斉拍手により一括承認された。

濱田会長より新幹事及び準幹事へ委嘱状が渡され、新幹事5名と出席新幹事と準幹事3名が今後の抱負を述べた。

5号議案 役員の改選承認に関する件

新役員の選出規定に基づき選出された役員候補者

- ①会長：吉野 誠 ②副会長：村松みさを 設楽政夫
③監査役：石井武治 小野寺則男 竹内慧子

各部部長候補者

安全登山部 部長：安吉佳子	審査部 部長：牛山 誠
教育部 部長：久保田勝美	入門部 部長：綿貫政夫
軽イキング部 部長：北澤秀三	イベント部 部長：保科美喜子
編集部 部長：東 弥生	広報部 部長：平山典男
総務会計部 部長：濱田正和	

新年度役員候補者は氏名を挙げられたと同時に起立し、質疑応答もなく出席者の一斉拍手により新役員候補者、各部部長候補者一括承認された。

承認後、濱田会長より吉野新会長に事務所のカギを渡すことにより会長の引継ぎを行った。濱田前会長の退任挨拶の要旨は「6年間の会長時代は、会員の減少と赤字続きの対策として、HPで体験山行者の勧誘による会員数増加と山行参加費の導入を行い、コロナの影響下の中だが、山行数をアップさせて黒字化に導いた。皆さんのお陰と感謝しています」と。吉野新会長の挨拶の要旨は「コロナ禍の中とはいえ、皆さん、山を歩きたいのです。新入会員も50歳代が増えてきており、皆さんが望んでいる山行企画を幅広く出していき、皆さんが楽しむ会にするために、ボランティア精神をもって自分のできる活動をして欲しい。今後も皆さんの協力をお願いします」と。

退任と新任の挨拶は出席者の一斉拍手をもって歓迎された。

6号議案 令和4年度事業計画の承認に関する件

吉野新会長より次の提案があった。

- ・安全な山行の維持
- ・会員の要望に沿った山行の増加と内容の充実
- ・部活動の活性とリーダーの育成強化

質疑応答もなく出席者の一斉拍手をもって承認された。

7号議案 令和4年度予算案の承認に関する件

1) 予算案

小林総務会計部長より、山行手帖6月号5ページに従って予算案の提案があった。

①収入について

入会金は80,000円。会費収入は新入会員と継続会員で5,800,000円。

山行参加費は1,400,000円。収入合計は7,427,000円です。

②支出について

家賃は、本年度は更新料があり、1,610,000円。その他各科目とも前年と大きな違いはない。コロナ禍の影響について見通しができない中、支出合計は7,740,000円です。繰越金引当313,000円（赤字額）の計上となる。

質疑応答もなく、出席者の一斉拍手をもって承認された。

以上で2022（令和4年）年度の定期総会の審議は14時25分で全て終了、小林総務会計部長による議長団解任宣言（拍手）があり、大会終了宣言があった。

時間の余裕があるので、村松みさを副会長司会により、初めて総会に出席した5名、事務所関係者2名等々から自己紹介含めて山行活動の感想を聞き、その後の懇親会では、新部長等から今後の抱負等を聞いて、15時30分をもって終了した。

以上、上記議事を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名人がこれに記名押印する。

令和4年 6月 25 日

議 長

氏 名

印

氏 名

印

議事録署名人

氏 名

印

氏 名

以上